

IMAGINE ROTARY

2022-23年度 RI会長／ジェニファー・ジョーンズ
RI.D2590ガバナー／志村 雄治
横浜旭RC会長／安藤 公一

「想像してください、私たちがベストを尽くせる世界を。
私たちは毎朝目覚めるとき、その世界に変化をもたらせると知っています。」

国際ロータリー第2590地区

横浜旭ロータリークラブ

事務所 横浜市旭区二俣川1-37-3 NUTS1階／〒241-0821
TEL.045-465-6702／FAX.045-465-6712
http://yokohamaasahirc.cho88.com
Email:asahirc@titan.ocn.ne.jp

例会場 二俣川相鉄ライフ 4Fコミュニティサロン
例会日 毎週水曜日／12時30分～1時30分



横浜市幼稚園協会へエコペーパー石鹸配布



ガールスカウトとクリーン作戦



鎌倉・江の島へ親睦旅行

2023年3月15日 第2499回例会 VOL.54 No.32

■司会幹事 新川 尚

■開会点鐘 会長 安藤 公一

■出席報告

| | | | |
|--------|--------|--------|--------|
| 会員数 | 18名 | 本日の出席数 | 13名 |
| 本日の出席率 | 78.22% | 修正出席率 | 82.35% |

■オンライン出席者 岡田、福村

■本日の欠席者 宋、田川、中谷、二宮、平子

■皆出席祝い 増田会員 33年



■会長報告 安藤 公一

本日は、認定NPO法人あっちこっち理事長の厚地美香子からお話を頂けることになりました。宜しくお願ひ致します。

先週土曜日に東日本大震災から丸12年となりました。当クラブとしての復興支援活動の経緯については先週申し上げた通りですので、ここで敢えて重複は避けます。ご家族を亡くされたご遺族に寄りそう姿勢は、今後も続けて行き

たいと思っています。また被災地の悲劇を忘れないでいることもとても大事なことだと思っています。

東京では昨日桜の開花宣言が行われました。今季全国で一番早く、昨年より6日早く、例年より10日早く、3年前、2年前と最早タイ記録とのことです。通常であれば、桜開花すると杉花粉飛散が終了するようですが、今年はスギ花粉の中の花見となりそうです。気温も平年の1か月先のレベルにまで上がってきています。朝晩の気温差も増大し体調を崩す方もおられるようです。今週13日にマスク着用が個人の判断に任されることになりましたが、新型コロナが消滅した訳ではないことは改めて肝に命じ、インフルエンザを含めた感染症対策も引き続き留意しながら健康管理には一層の注意を払っていきたいと思っています。

いよいよ今週土曜日18日に相鉄・東急新横浜線が開通となります。二俣川—新横浜が僅か13分4つ目の駅として繋がります。新幹線へのアクセスが抜群に便利になります。

スポーツでは、何といたってもWBCでの侍ジャパンの活躍です。日本中を元気にしてくれました。明日の準々決勝、来週の準決勝・決勝での今まで以上の活躍を祈ります。大いに楽しみです。

▷地区関係・クラブ関係

1) 当コミュニティーサロンでの例会は3月22日までとなり、4月5日からはオカダヤさんの3階会議室をお借りすることとなりました。今後も繰り返し申し上げることとなりますが、宜しく願います。コミュニティーサロンにおいては、3月一杯は従来の感染防止対策を継続するとのことでした。

2) 先週例会終了後、二宮麻里子さんのご紹介で、横浜市国際局国際連携課の関谷課長に国際交流協会を通じたウクライナ支援関係のお話を伺いました。様々な形での支援が行われているようです。その際に頂いた冊子を回覧します。

3) 地区よりレディース交流会開催の案内がきました。5月16日(火)17時～20:30、横浜ロイヤルパークホテルにて開催されます。案内を回覧します。

4) 地区より入会3年未満会員対象の交流会が3/24(金)17時よりインターコンチネンタルホテルで開催するとの案内がきました。中谷さん、大樹さん宜しく願います。

5) ローターアクト関東ブロック研修会(4/29-30)の案内が届いています。

6) 会長幹事会が3月16日に開催されるとの案内がきましたので、安藤・新川で出席してきます。

7) 地域の情報としてお伝えしておきます。鶴ヶ峰連続立体化に伴う工事説明会が3月24日(金)19時～20時半、25日(土)10時半～12時の2回、旭公会堂で開催されることとなりました。

8) 地区財団奨学生に応募されていた藤田葉月さんは、残念ながら選考から外れ不合格となってしまいました。

■幹事報告 新川 尚

▷例会臨時変更のお知らせ

横浜緑ロータリークラブ

3月29日(水) 夜間移動例会「春の家族会」

点鐘/18時 会場/うなぎ青山

■広報委員会友の紹介 五十嵐 正

1) 横組から、p4にRI会長ジェニファー・ジューンズさんを京都でもてなす裏千家のパス

トガバナーの千玄室さん(99歳)の元気な様子が紹介されております。

2) 特集として地域の森活動術として、各地のクラブの活動紹介がされております。共通していることは、子どもと環境問題がキーワードになっているようです。先週の関口大樹さんの森林再生の活動など、今度クラブの活動としても考えてはと思いました。

3) 横組みp19には、皆さんの質問に答えるとして、世界中のロータリー会員からSNSを通じて寄せられて質問に答えるとして、ゴードン・マッキンリーさんの記事を紹介されております。私共も日頃感じている問題は、ある意味世界共通の部分も含まれているように思います。是非一読ください。

4) 縦組みp4のスピーチ、河野さんの震災から復興へ、発酵で町づくりの記事ですが、是非皆さんも読んでいただきたい、久々に一機読みしました。衰退の原因は自分達自身である。先程ご紹介した、ゴードン・マッキンリーさんも、奉仕活動を積極的に行っていくと、クラブが充実するだけでなく、より多くの人々の目に留まることで、仲間になってくれる人が増える。と回答されており、またジェニファー・ジューンズRI会長が提唱するイメージロータリーに繋がるように感じました。

■災害対策委員会

五十嵐 正

今期の活動計画の中で、岩沼RCとの連携の確認として、米山記念館訪問の企画を、親睦・米山委員会と共に計画を立ててみました。別紙をご覧ください。期日は5月19日金曜と20日土曜、19日二俣より宋さんのバスで、三島駅に迎え、岩沼RCと合流し、昼食後米山記念館訪問、その後三嶋大社参詣の後、横浜へ戻り、中華街にて合同親睦会を開催、その際横浜市国際局のお力添えで、ウクライナ避難民の方々との交流を計画しております。

20日は横浜観光などを予定しました。これは岩沼さんへのリサーチを経て、これから詳細を考えます。同じものが岩沼さんへ送っておりますので、3月中に大筋をまとめたいと思いま

岩沼 RC・横浜旭 RC 親睦旅行企画

担当委員会：親睦（北澤）・米山（内田）・災害（五十嵐）

米山梅吉記念館訪問企画

| | |
|----------|---|
| 5月19日(金) | 岩沼 RC 新幹線にて東京 東京から三島駅 岩沼発 7:38分 三島着 10:50分 |
| 8:30 | 二俣川出発 |
| 10:30 | 新幹線三島駅、岩沼 RC 出迎え |
| 11:30 | 桜屋 桜屋 (☎055-975-4520) 三島市広小路 13-2 (昼食 うなぎ) |
| 13:00 | 米山梅吉記念館 (☎055-986-2946) |
| 14:00 | 観光 (三島大社) |
| 15:30 | 横浜へ |
| 17:30 | ホテルへ (未定、人数確定後検査) |
| 18:30 | 合同親睦会 (中華街) 葉香新館 (☎050-3196-2794) |

▷萩観光の中型バス (19日)
片道 / 95 km 時間 / 1時間 40分

▷桜屋 (☎055-975-4520)
うなぎ

▷横浜中華街にて合同親睦会
横浜旭 RC が主催
ウクライナ難民交流会予定

▷20日(土)
横浜観光
鎌倉・湘南エリア観光
※岩沼 RC 会員希望リサーチ

5月20日(土)

ホテル

- ・横浜観光
- ・鎌倉・湘南エリア観光

横浜駅にて合流

横浜駅 17:00 集合発
帰宅

す。5月19・20日は御予定を空けておいてください。次週より参加申込の回覧を行いますので、宜しくお願いします。

■ニコニコ BOX

安藤 公一 / ①厚地理事長様御多用中にもかかわらずご来訪頂きありがとうございます。本日は宜しくお願い致します。②WBCでの侍ジャパンの健闘を祈って。

新川 尚 / NPO 法人あっちこっち理事長厚地美香子様本日は卓話宜しくお願いします。

関口 友宏 / 厚地さん、本日の卓話宜しくお願いします。

佐藤 利明 / NPO 法人あっちこっち理事長厚地美香子様、本日の卓話宜しくお願いします。

内田 敏 / 厚地美香子様、本日は宜しくお願いします。

五十嵐 正 / NPO 法人あっちこっち理事長厚地様、本日は卓話宜しくお願いします。

関口 大樹 / NPO 法人あっちこっち理事長の厚地美香子様、本日は卓話宜しくお願いします。

■卓話「認定 NPO 法人あっちこっち」

理事長 厚地美香子様

自己紹介



理事長

あっちこっち
厚地 美香子



横浜市中区在住
県立厚木高校から武蔵野音楽大学へ進学
趣味は、お菓子作りと横浜散策



- ✓放送ピアニストだった叔母の影響で、ピアニストを目指す。
- ✓大学卒業後、クラシック音楽コンサート・マネジメント会社に20年勤務。
- ✓2010年より、芸術による社会貢献を目指して前職を退職し、NPO立ち上げ準備開始。

2011年3月、あの東日本大震災が発生しました。ボランティアをした経験がなく、何をしたら良いのかわかりませんでした。当時、全国的にも芸術活動は自粛ムードでした。そんな時、知人から「音楽は人の心を癒す力があるから、被災地にはあなたができることがたくさんあるわよ!」と言われて、被災地に行くことに決めました。8月のことです。

『クラシック音楽』を敷居が高いと感じる方に音楽を押し付けてはいけないと思い、手作りケーキを持って行くことにしました。音楽は人を癒しますが、カフェを併設する事でコーヒーの香りやケーキが、人の心をさらに温かくし癒してくれると思ったからです。ケーキとコーヒーを車に積み込み、大学時代の友人と一緒に被災地を目指しました。演奏家にはだれもが知っている耳慣れた曲を弾いてくださいとお願いしました。

事前に、週末に車で行って帰って来られる場所をグーグルマップで選んだら仙台や松島近辺がヒットしました。宮城県七ヶ浜町のボランティアセンターに問い合わせ、そこで『カフェ・コンサート』を開きました。嬉しかったのは「クラシック音楽は初めてだけ

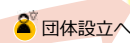
音楽をもっと身近にするためには

音楽をもっと日常的に楽しむには?



音楽を身近に感じられる活動を実現する為の**団体設立**へ!

もっと人と人をきめ細かくつなぐことで若手アーティストの力を活用し、芸術の力を社会に役立てたい。



● **会社員時代**

- ・クラシックコンサートは、集客第一なので、ビッグネームによる音楽愛好家向けがメイン。
- ・クラシックコンサートは、特別な日の特別なイベント。

● **学生時代**

音大時代の同級生も、余暇にまで音楽を楽しむ人は少なかった。音大での教育は、ソロ・アーティストを目指すものがメインで、複数メンバーが協力してつくりあげるアンサンブルの教育はなかった。

団体設立へ ～東日本大震災とカフェ・コンサート～



2011年9月

優秀な若手演奏家に声をかけて被災地へ

横浜から手づくりお菓子和コーヒーを。



② カフェ・コンサート開催へ。



被災地から地元横浜へ



◆被災地支援カフェ・コンサート開始の地、七ヶ浜ではおなじみの存在に



「あっちこちさんですか。」
「カフェ・コンサートの方ですか」
と声をかけていただけるように。



しかし、地元横浜では
だれも、わたしたちの活動を知らない…。

地元で、子どものためのわくわくワークショップシリーズをスタート

ど、美しい調べに心が動いた」「震災以来、泣く事が出来なかったけれど、音楽を聴いて涙が止まらなかった」など、私たちの活動を受け入れてもらえたことです。

<認定 NPO 法人あっちこちにつきて>

芸術を通じた社会貢献活動を様々な分野のアーティストと行う団体です。2011年被災地での支援活動からスタートしました。プロ又は

認定NPO法人あっちこち設立



人を癒し、人と人を繋げる活動。芸術で地域の課題解決のお手伝い!



あっちこちの活動理念

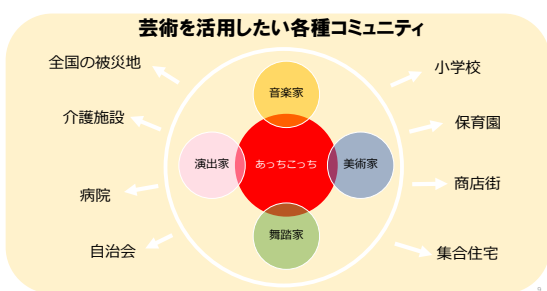


- 【理念】**
アートでまちとひとを元気にします。
- 【ミッション】**
地域社会と芸術家をつなげることで、地域の課題を芸術の力で解決します。
- 【ビジョン】**
日常生活の中で身近に、芸術を見たり、聴いたり、体感したりすることで、さまざまな人が、共に楽しく元気に生活することができる社会。
- 【レビュー】**
芸術には、あらゆる垣根をこえて、人の心をうごかし、勇気づけ、癒し、人と人をつなげる力があります。

あっちこちの体制



あっちこちの体制



認定NPO法人あっちこち SDGsの取り組み



| SDGs目標 | 取り組み |
|--------|--|
| 4 | 子どもの芸術体験・アーティストが学校へ 質の高い芸術イベントのアウトリーチで、子ども達の豊かな感性を育みます。 |
| 11 | 地域交流コンサート・アートフォーコミュニティ アーティストが地域コミュニティに入り、イベントを積極的に開催することにより、コミュニティの活性化を図ります |
| 10 | 子ども食堂とアート体験・こどもホスピス芸術学校 交流イベントに参加することにより社会問題となっている孤独と孤立を防止、安心安全なまちづくり、憩いの場づくりに寄与します。 |
| 17 | 国際交流 海外のアーティストを日本に招き共働することにより、国際交流を促進します。 |
| 8 | 芸術全般 芸術をもっと身近に楽しく、元氣な社会をつくります。若手アーティストの活動の場を増やします。 |

プロを目指すクラシック音楽家、美術家、ダンサーなど才能ある若手芸術家が現在 60 名以上登録しています。子どもたちが優秀な若手アーティストと直接触れ合うことで芸術文化をより身近に体験できる機会を提供し、2012 年から 2021 年まで各地の学校機関、文化公共施設などで 300 回以上開催しています。行政とも連携し、子どもたちの豊かな情操を養う機会の拡大することへの貢献等を評価され、2015 年第 9 回かながわ子ども・子育て支援大賞特別賞受賞。2021 年内閣府より子ども・若者育成支援部門の活動に対し「内閣府特命担当大臣表彰」を受けました。

▷解決しようとしている課題

芸術にはあらゆる垣根を越えて、人の心をうごかし、勇気づけ、癒し、人と人をつなげる力

があります。その利点を地域社会に伝え、地域住民とつながる活動が出来る若手芸術家が増え、日常生活の中で身近に、芸術を見たり、聴いたり、体感したりすることで、さまざまな人が、共に楽しく元気に生活することのできる社会を目指します。団体設立のきっかけは、2011年東日本大震災、被災地で開催したカフェ・コンサートです。そのあとの熊本地震も含め、2019年までほぼ毎月被災地で合計200回以上開催してきました。そこで音楽やアートで人と人がつながれることを実感しました。その際に協力してくれた累計数百名の若手芸術家の現状として大学や海外で学んでも社会に活かせる場がなく、さらに活動を諦める人も多いと知りました。

そこで心の支援が必要な方々と優秀な若手芸術家を繋ぎ、心を癒し、人を繋げる活動を様々な場所で行うためにNPOを設立しました。地域社会に対し、芸術での社会活動に関する事業を行う事で文化・芸術の振興を図ると共に、優秀な若手芸術家が社会活動を考える機会を作り、活躍できることがミッションです。

▷具体的にどのような活動をしているか

プロ又はプロを目指すクラシック音楽家、美術家、ダンサーなど社会貢献活動を共に行う、才能ある若手芸術家が現在60名以上登録しています。彼らはオーディションに受かった芸術家達です。彼らと一緒にあっちこっちへ芸術を届ける活動をしています。



▷現在、社会課題解決のために7つの事業を行っています。

1：「親子で楽しむ♪子ども食堂とアート体験」 横浜市中区寿町という、元ドヤ街でその地域

2020年スタート 横浜市中区寿町にて



子ども食堂とアート体験

| | |
|---|--|
| <p>芸術ワークショップ</p> <ul style="list-style-type: none"> 音楽演奏体験と鑑賞 アート制作ワークショップ ダンスワークショップ  | <p>子ども食堂</p> <ul style="list-style-type: none"> 横浜市内の若者の引きこもり支援をしている農園団体から野菜食材の連携、食堂スタッフとして活躍！ 食事を大切にワークショップのテーマにちなんだもの  |
|---|--|

にある複数の保育園や教育機関と連携し安心安全な街の居場所づくりを目標に開催しています。親子で楽しむアート体験を1時間程した後、一緒に食事を共にします。食事作りは、引きこもりなど、生きづらさを感じる若者を支援している団体の方と協同し行っています。

2：「子どもホスピス芸術学校」

2021年に日本で2番目の子どもホスピスが横浜金沢区に出来ました。施設運営NPO法人と連携し、命の限りがある病児に学ぶ体験、学校運営をしています。またこの子どもホスピスが地域とつながれるようなイベントの制作しています。

2021年スタート 横浜市金沢区にて



子どもホスピス芸術学校とは

一人一人の病状に合わせて音楽・美術・ダンスの各分野、またそれらがコラボレーションした「授業」をプロのアーティストが向いておこなうプロジェクト。子どもの**輝く時間を家族や友達と一緒に共有**する。



※子どもホスピスとは・・・病児ともにもある子どもと家族と一緒に安心して過ごせる場所であり、病児のために諦めていた「やってみよう」を叶えられる場所

2021年スタート 横浜市金沢区にて



子どもホスピス芸術学校

2021年秋、横浜市金沢区に関東で初の子どもホスピス設立



2023年秋、ヨコハママラソン、チャリティ枠に決定(^^)

3：「子どものためのわくわくワークショップ」

親子で楽しめる総合芸術体験を、文化施設を運営管理している財団、地域のボランティア団体や学校と連携し、開催場所やその地域の子どもたちにマッチした内容を協働制作しています。開催場所は、神奈川県内が多いのですが、千葉県や埼玉県など、2012年から開催、現在6シリーズを制作し、参加人数は1000人を超えています。

4：「横浜市芸術文化教育プラットフォーム～アーティストが学校へ」

先ほどの活動が認められまして、横浜市教育委員会より2015年にコーディネートの委託を受け、毎年市内小学校6校へ1年間で合計18日間の合唱・オペラ・邦楽のワークショップを担当しています。

5：「国際交流事業」

毎年日本で開催される国際舞台芸術ミーティング TPAM で出会った海外の芸術団体と、主にオーストラリア政府の基金を元に南三陸町教育委員会と連携して町内全小学校で芸術ワークショップを2015年、2018年に開催し、2023年も開催予定です。オーストラリア大使館文化部の信頼を得て現在3つの芸術団体と連携プロジェクトを進めています。

6：「若手アーティストの人材育成事業アート・フォー・コミュニティ」

若手アーティストが地域コミュニティと話し合いながら音楽、アートを街や商店街に取り入れる機会を2018年より提供し、年間を通して継続的に開催しています。その1つとして芸術を通じた町の居場所づくりを目的とした「麦田芸術大学」を横浜市中区麦田町で2021年7月より麦田町発展会、麦田地域ケアプラザと共催で行っています。

7：「被災地支援事業」

東日本大震災の被災地支援のために2011年から主に仮設住宅に住む住民にカフェ・コンサートを毎月欠かさず開催し、2014年からは福島県内、2017年からは熊本県内で行い、約10年間で200回ほど開催しました。

▷継続活動のための寄付のお願い

私たちの活動は対象者からは殆ど参加費を頂けないか又は安価で提供しているので資金繰りが毎回大変になっているのが現状です。いただきました寄付は、若手アーティストが社会貢献活動をするために必要な費用に使います。制作のためのリハーサルをするための会場費や制作費、さらに彼らへの謝金を主に致します。

▷ボランティアとしてどのように活動に関われるか

隔月で被災地支援にお菓子を届ける会を横浜で開催しています。中学生以上であれば、男女問わずにご高齢の方も参加出来る会です。市の調理施設を借りて、お菓子大体1000個位つくり、今までご支援していた福島県、宮城県の復興公営住宅の自治会や子どものための通所施設、また子ども食堂などに送っています。

▷これまでの実績

2011年芸術を通じた社会貢献活動を行う市民団体として横浜で発足、被災地支援として子どもからお年寄りまで交流出来るカフェ・コンサートを、若手演奏家と仮設住宅集会所等で、2019年まで200回以上開催。今も被災地との関係は続き、横浜でボランティアを募りお菓子を作りお茶会等に贈っています。

2012年こども芸術体験事業開始。関東近県、東北、九州等で300回以上開催しました。

2015年から横浜市芸術文化教育プラットフォームで学校プログラムコーディネーターを現在も務めています。

2016年若手アーティストの社会貢献活動の機会拡大のためオーディションを開始、現在も毎月開催しています。寄付金税控除が対象となる認定NPO法人に指定されました。

2018年宮城県南三陸町教育委員会の協力のもと、オーストラリアの「ポリグロット劇場」とワークショップを協働制作、町内全小学校と保育園等で開催しました。

2019年かながわSDGsパートナーに登録。内閣府地方創生SDGs官民連携プラットフォーム会員。

2020年「子ども食堂とアート体験」プロジェクトを横浜市中区寿町でスタート。

2021年こどもホスピス芸術学校設立に向け、病院や関係施設の視察、調査をし、試運転を開始。

2022年こどもホスピス芸術学校スタート。

■次週卓話 4/5 中谷会員

4月より例会場が(株)岡田屋会議室に変わりますので、ご注意ください。